

平成30年度 磐田市立磐田第一中学校 学校評価書

目標・取組		評価指標	自己評価	考察や改善点等	学校関係者評価委員より
「未来を拓く力をもつ生徒を育てる」教育活動の推進	○社会で自立的に生きるために必要な資質・能力を育む学校づくり <生徒>  ○保護者や地域・社会に開かれた教育課程を通し、信頼される学校づくり <学校>	1 学校教育目標「未来を拓く力をもつ生徒を育てる」を意識して教育活動に取り組んでいる。(教師)	A	分析の数値は左からH28, 2学期→H29, 2学期→H30, 2学期  <b>項目4 目指す子どもの姿や教育内容の理解</b> 分析 保護者 87%→88%→88% 学校で目指している子どもの姿や教育内容について、9割近くの保護者が知っていると回答している。今後も学校・学年・学級だよりと共にホームページも有効活用しながら、学校の情報を保護者の方に積極的に伝えていきたい。  <b>項目5・6・7 小中一貫教育を生かした研修や内容理解</b> 分析 教師 79%→57%→53% 生徒 83%→90%→89% 保護者 89%→90%→89% 生徒は小学校と交流することのよさを感じており、小中一貫教育に対する保護者の理解も高い。それに比べて、教師は2つの小学校の研修内容を十分に理解したり、授業に生かしたりすることに課題を感じている。まずは、小中一貫プロジェクトを軸にした共通実践を大切にしていきたい。	【小中一貫教育】 ・小中一貫教育に対する保護者の理解をさらに深めることで、より一層の充実を進めてほしい。  ・小学校で学習した内容とのつながりを意識した授業づくりを進めることで、生徒たちの理解をさらに深めてほしい。
		2 一中では、生徒が自己の生き方や進路について、保護者とじっくり話し合う機会をもつよう働きかけている。(教師)	A		
		3 将来の進路について、家庭で話し合っている。(保護者)	A		
		4 学校が目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。(保護者)	A		
		5 小学校の研修内容を知り、小学校の授業づくりから学んでいる。<小中一貫>(教師)	B		
		6 中部小・西小の先生や友達と交流することの良さを感じている。<小中一貫>(生徒)	A		
		7 小中一貫教育で取り組んでいる内容を知っている。<小中一貫>(保護者)	A		
矜 特	○授業や部活動に主体的に取り組む一中生  ○進路(目標・夢)に向かって粘り強く取り組む一中生  ☆AL・Nスタイルの手法をいかした授業実践(研修の推進)  ☆自主性、主体性を重んじた部活動(目標の設定や練習方法の決定等、生徒が主体の部活動の推進)  ☆進路指導の充実  ・矜持 「自分らしさ」の創造  ・達成感 「健やかな心身と確かな学力」	8 授業や部活動に主体的に取り組む生徒を育てるよう指導をしている。<矜持>(教師)	A	<b>項目9・10「確かな学力」が身に付く授業の実践</b> 分析 教師9 97%→92%→94% 教師10 64%→62%→66% 学習の基本3項目や授業三感を意識した授業の実践について、教師の評価は高い。平成33年度の新学習指導要領の完全実施に向けて、教師一人一人が「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善に覚悟を持って取り組みたい。まずは、年度当初のガイダンスを充実させ、生徒が各教科で、どのように学ぶのかを理解できるようにしたい。  <b>項目13・14・15 きめ細やかな指導・支援</b> 分析 教師 82%→81%→93% 生徒 95%→96%→95% 保護者 84%→82%→93% きめ細やかな指導・支援については、教師、生徒、保護者の評価は高い。今後も授業の中で生徒一人一人の学習状況を丁寧に把握したい。その中で、個々のつまずきに対して適切な助言をし、より良い学びに向かわせていきたい。また、きめ細やかな指導・支援が子どもの姿で保護者に伝わるような取り組みも続けていきたい。	【確かな学力】 ・全国学力学習状況調査の結果から生徒の学力が確実に身につけていることが分かる。生徒も教師もよく頑張っている。  【きめ細やかな指導・支援】 ・特に保護者の評価が昨年に比べて、10%向上しているのは素晴らしい。教師の日々の実践の成果だと感じる。  ・生徒個々のつまずきに対するきめ細やかな指導・支援は教育の根本であり、その評価が高いことは素晴らしい。これからも大切にしていってほしい。
		9 学習の基本3項目(2分前着席、授業に集中、予習・復習)と授業三感(共感、存在感、達成感)を意識して、「確かな学力」が身に付く授業を実践している。(教師)	A		
		10 学びのてびきを活用し、ガイダンス機能を充実させることができた。(教師)	B		
		11 ベーシックスタディ(基礎学力定着のための補充的な学習の時間)で基礎的な学力が身に付くよう指導している。(教師)	A		
		12 「ベーシックテスト」にすべて合格できている。(生徒)	A		
		13 個に応じたきめ細やかな支援・指導ができている。(教師)	A		
		14 先生は分かりやすく教えてくれる。(生徒)	A		
		15 教師は、個々の子どもによく分かるよう工夫して勉強を教えている。(保護者)	A		

側 隠	・側隠 「人間らしさ」の希求  ・共感 「豊かな共生の心」	○気持ちのよいあいさつができる一 中生  ○ありがとうが素 直に言える一 中生  ○黙って清掃に取 り組む一 中生  ☆常に教師が、率 先して清掃に取り 組みあいさつや返 事、感謝の言葉 を言う。  ☆道徳の時間の充 実（時間設定、資 料・授業案の共有 化、授業研究・評 価研修等の実施）	16	気持ちのよいあいさつができる生徒を育てるよう指導をしている<側隠>（教師）	A	<b>項目17・18・19「あいさつ」</b> 分析 教師 73%→71%→83% 生徒 93%→93%→92% 保護者 84%→86%→87% あいさつに関しては、教師、生徒、保護者の評価は高い。ただし、あいさつ運動に参加した保護者から「あいさつしない」とあいさつをもらえない」という意見もいただいた。今後も継続して、生徒会やPTA生活部を中心にしたあいさつ運動に取り組み、誰もが気持ちのよいあいさつを交わすことができる学校を目指していきたい。  <b>項目20・21・22 あたたかな言葉遣い</b> 分析 教師 73%→84%→79% 生徒 91%→93%→92% 保護者 90%→91%→93% 相手の気持ちを考えたあたたかな言葉遣いに関しては、生徒と保護者の評価に比べて、教師の評価がやや低くなっている。今後、道徳教育の要である道徳科の授業を中心に、思いやりの心をもって人と接することなど、人としての生き方を深める学習に力を入れていきたい。また、教師自身も生徒一人一人の心に深く寄り添った指導を継続し、あたたかな信頼関係のある学校にしていきたい。	<b>【あいさつ】</b> ・あいさつは心の健康にとってとても大切なものである。地域、保護者、生徒が一体となつてあいさつに取り組むことで、さらに大きな成果がでる。  <b>【あたたかな言葉遣い】</b> ・家庭では温かい言葉を交わし合うことができている。これを外の世界である学校でも実践できるようにしたい。
			17	子どもは、進んで気持ちのよいあいさつをしている。（教師）	A		
			18	進んで気持ちのよいあいさつをしている。（生徒）	A		
			19	子どもは、進んで気持ちのよいあいさつをしている。（保護者）	A		
			20	子どもたちは、相手の気持ちを考えた、あたたかな言葉遣いをしている。（教師）	B		
			21	相手の気持ちを考えた、あたたかな言葉遣いをしている。（生徒）	A		
			22	子どもは、相手の気持ちを考えた、あたたかな言葉遣いをしている。（保護者）	A		
			23	先生は、自分のことを分かってくれている。（生徒）	A		
			堂 々	・堂々 「一中らしさ」の創出  ・存在感 「新たな一中文化創出の担い手意識」	○行事やボランティアに意欲的に取り組む一 中生  ・校歌を大きな声で堂々と歌う一 中生  ☆生徒会を中心に生徒が主体、生徒が前面に出るよう、行事やVS（ボランティア・サービス）の企画を任せる。（そのための時間の設定や教師がつく時間の確保。生徒活動の場では、教師が前面に出ない。）		
25	子どもたちは、学級の中で、自分の役割を果たしている。（教師）	A					
26	学級の中で、自分の役割をしっかりと果たしている。（生徒）	A					
27	子どもたちは、進んで声を出し、歌うこと（合唱）を楽しんでいる。（教師）	A					
28	朝の会や集会、帰りの会などで、自分から声を出し、楽しんで歌っている。（生徒）	A					
29	子どもは、進んで声を出し、歌うこと（合唱）を楽しんでいる。（保護者）	A					
30	部活動では、子どもたちが集中して取り組んでいる。（教師）	A					
31	部活動に集中して取り組んでいる。（生徒）	A					
32	部活動に集中して取り組んでいる。（保護者）	A					

学校関係者評価を受けてのまとめ

学校関係者評価委員（学校運営協議会委員）からは、特に保護者から高い評価を得ていることを通して、「学校の教育活動による子どもの成長が見える形になっている」「学校の取り組みに満足している」などの肯定的な意見をいただいた。来年度も頑張っている生徒の姿を学校から発信していくとともに、学校、保護者、地域、小学校とのつながりをより一層深めていくことで、子ども一人一人の可能性を大きく広げる教育活動を実践していきたい。そして、学校教育目標「未来を拓く力をもつ生徒を育てる」の達成をチーム学校で目指していきたい。